

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

狭山市長 小谷野 剛

市町村名 (市町村コード)	狭山市 (2151)	
地域名 (地域内農業集落名)	奥富 (下奥富 上奥富 柏原新田)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月31日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

今後は中間管理機構等を利用し、拡大意向のある農業者に集約していく必要がある。
高齢等により数年後自身の農用地の耕作が難しい方が多数いる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

水田では水稻のみではなく、野菜等の高収益作物との二毛作をおこない、土地の収益率を上げる

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	116 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	116 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

区域内の農地については、原則、農業上の利用が行われているものとする

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を通じた積極的な貸付けをおこなう
(2)農地中間管理機構の活用方針
農林公社と定期的な話し合いをおこない、担い手への集積・集約化を進める
(3)基盤整備事業への取組方針
継続して用水路の維持管理に努める
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
行政や、農業協同組合等との相互の連携を強化し多様な経営体の確保・育成に努める
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
試験的事業で農機具貸出サービスの実施

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

区画整理された水田で農薬散布等にドローンを使用し効率化を図る。